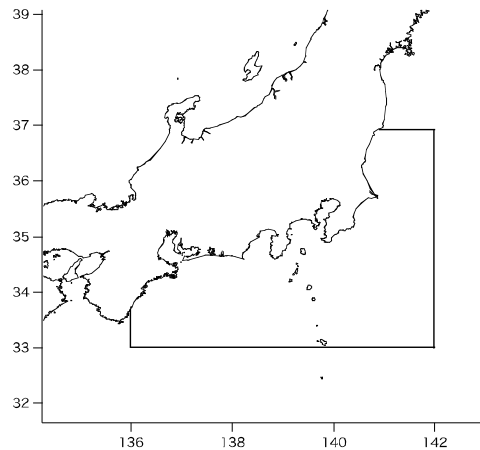


(様 式 2)

平成28年度 調査船調査計画書

- 1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)
- 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
- 3 調 査 名 春期カマイルカ目視調査
(予定している予算科目名:水産庁国際資源評価等推進委託事業鯨類サブユニット)
- 4 調 査 期 間 平 成 28 年 4 月 11 日 ~ 平 成 28 年 4 月 28 日 (18日間) (航海数: 1航海)
- 5 担当研究所等 国際水産資源研究所 外洋資源部 鯨類資源グループ
責任担当者 : 南川真吾
電 話 : 045-788-7508
- 6 乗船調査員等 氏 名 所 属 期 間
研究所等職員 : 未定 1名 国際水産資源研究所 4月11日 ~ 4月28日
契 約 職 員 : 未定 4名 水研センター契約職員 4月11日 ~ 4月28日
- 7 調 査 目 的 日本周辺のカマイルカの資源量と個体群構造の把握を目的として、4月におけるカマイルカの分布と個体数把握のための目視調査を実施する。併せて移動経路把握のため、ポップアップタグによる移動追跡、バイオプシーサンプル採取を実施する。
- 8 調 査 項 目 ⑦ 目 視 調 査 : 鯨類の目視調査
⑨ そ の 他 調 査 : 鯨類への衛星標識装着、バイオプシー、個体識別調査
- 9 調 査 海 域 北緯33度以北北緯37度以南、統計136度以东142度以南の太平洋海域

10 調査海域図



11 運航予定表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
4月11日	清水出港		1			
4月12日	調査開始			16		
4月27日	調査終了					
4月28日	清水入港		1			
	合計		2	16		

12 消費燃油予定量

油種 重油 軽油 消費量 80 KL

(様 式 2)

平成28年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)

2 総トン数・馬力数 887トン 4000馬力

3 調 査 名 亜熱帯域における小型カツオ分布調査及び熱帯性まぐろ類産卵場調査-1
(予定している予算科目名: 国際資源評価等推進事業 委託費)

4 調 査 期 間 平 成 28 年 5 月 13 日 ~ 平 成 28 年 6 月 2 日 (21日間) (航海数:1航海)

5 担当研究所等 かつおグループ
責任担当者 : 清藤秀理
電 話 : 054-336-6043

6 乗船調査員等

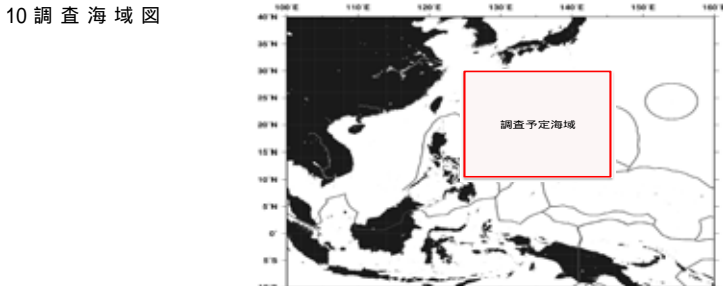
氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 : 清藤秀理	かつおグループ	5月13日 ~ 6月2日
研究所等職員 : 未定	中央水研	5月13日 ~ 6月2日
研究補助調査員 : 未定		5月13日 ~ 6月2日
研究補助調査員 : 未定		5月13日 ~ 6月2日

7 調 査 目 的 日本近海へのカツオ来遊元である亜熱帯域において、30cm前後のカツオ分布深度を明らかにするために、中層刺網及び釣り漁具により採集する。また、熱帯性まぐろ類およびカツオの初期生態を明らかにするため、稚仔魚を中層トロール等によりネット採集するとともに海洋環境を調査する。

8 調 査 項 目

- 海洋観測 : CTD, ADCP
- 基礎生産量調査 :
- プランクトン調査 : ノルパック, 2-mリングネット
- 底質・ヘントス調査 :
- 漁獲調査 : 中層トロール調査, 中層刺網, 釣り
- 魚探調査 : ソナー・音響調査
- 目視調査 : 鳥, 魚群探索
- 測器等調査 :
- その他調査 :

9 調 査 海 域 西部太平洋亜熱帯海域。北緯10-30度, および東経125度-145度の公海域



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
5月13日	清水港出港		3			
5月16日	調査開始			15		
5月30日	調査終了					
6月2日	清水港入港		3			
	合計	0	6	15	0	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 KL

平成28年度 調査船調査計画書

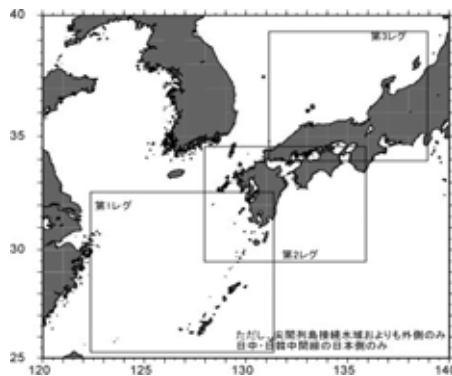
- 1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)
- 2 総トン数・馬力数 887 トン 4,000 馬力
- 3 調 査 名 南西諸島、薩南、日本海におけるクロマグロ仔稚魚分布調査
(予定している予算科目名: 国際資源調査委託費、交付金など)
- 4 調 査 期 間 平成 28 年 6 月 13 日 ~ 平成 28 年 8 月 10 日 (59 日間) (航海数: 1 航海)
(用 船 期 間)
- 5 担当研究所等 責任担当者 : 大下誠二
電 話 : 054-336-6033
電 話 :
- 6 乗船調査員等

	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	未定	未定	~
契 約 職 員 :	未定	未定	~
外国人研究者 :	未定	未定	~
オブザーバー :	未定	未定	~
そ の 他 :	未定	未定	~
- 7 調 査 目 的 太平洋クロマグロの加入に関わる基礎的な試料を収集することを目的とする。各種ギアによる本種の採集の他、海洋観測を実施する。

- 8 調 査 項 目
 - ① 海 洋 観 測 : CTD・採水・ADCP観測
 - ② 基礎生産量調査 : 栄養塩分析ほか
 - ③ プラクトン調査 : ノルパックネットほか
 - ④ 底質・ベントス調査 :
 - ⑤ 漁 獲 調 査 : 中層トロール、LCネット、多段開閉式ネット、リングネットほか
 - ⑥ 魚 探 調 査 :
 - ⑦ 目 視 調 査 :
 - ⑧ 測 器 等 調 査 :
 - ⑨ そ の 他 調 査 :

9 調 査 海 域 東シナ海・太平洋・日本海

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
6月13日	出港		2	15		
6月30日	入港					長崎を想定
7月3日	出港	2				
7月20日	入港		3	17		新潟を想定
7月23日	出港	2				
8月10日	入港		4	14		
	合計	4	9	46		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 KL

(様 式 2)

平成28年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)

2 総トン数・馬力数 887トン 4000馬力

3 調 査 名 亜熱帯域における小型カツオ分布調査及び熱帯性まぐろ類産卵場調査-2
(予定している予算科目名: 国際資源評価等推進事業 委託費)

4 調 査 期 間 平 成 28 年 8 月 26 日 ~ 平 成 28 年 9 月 16 日 (22日間) (航海数:1航海)

5 担当研究所等 かつおグループ
責任担当者 : 清藤秀理
電 話 : 054-336-6043

6 乗船調査員等

氏 名	所 属	期 間
研究 所 等 職 員 : 清藤秀理	かつおグループ	8月26日 ~ 9月16日
研究 所 等 職 員 : 未定	中央水研	8月26日 ~ 9月16日
研究 補 助 調 査 員 : 未定		8月26日 ~ 9月16日
研究 補 助 調 査 員 : 未定		8月26日 ~ 9月16日

7 調 査 目 的 日本近海へのカツオ来遊元である亜熱帯域において、30cm前後のカツオ分布深度を明らかにするために、中層刺網及び釣り漁具により採集する。また、熱帯性まぐろ類およびカツオの初期生態を明らかにするため、稚仔魚を中層トロール等によりネット採集するとともに海洋環境を調査する。

8 調 査 項 目

海 洋 観 測 : CTD, ADCP
 基 礎 生 産 量 調 査 :
 フラットトン調査 : ノルパック, 2-mリングネット
 底 質 ・ ベ ン ト ス 調 査 :
 漁 獲 調 査 : 中層トロール調査, 中層刺網, 釣り
 魚 探 調 査 : ソナー・音響調査
 目 視 調 査 : 鳥, 魚群探索
 測 器 等 調 査 :
 そ の 他 調 査 :

9 調 査 海 域 西部太平洋亜熱帯海域。北緯10-30度, および東経125度-145度の公海域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
8月26日	清水港出港		3			
8月29日	調査開始			16		
9月13日	調査終了					
9月16日	清水港入港		3			
	合計	0	6	16	0	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 KL

平成28年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)

2 総トン数・馬力数 887 トン 4,000馬力

3 調 査 名 北太平洋におけるサメ類の標識放流及び生態調査

4 調 査 期 間 平 成 28 年 9 月 29 日 ~ 平 成 28 年 10 月 19 日 (21日間) (航海数: 航海)

5 担当研究所等 国際水産資源研究所

責任担当者 : 岡本浩明
電 話 : 054-336-6045

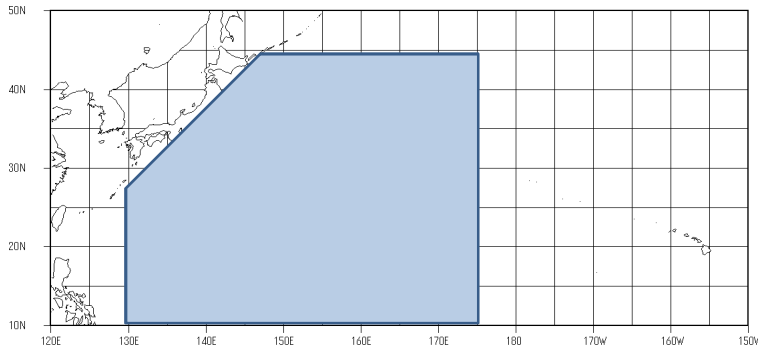
6 乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	未定	国際水研	9月29日 ~ 10月19日
	塩崎 航	国際水研	9月29日 ~ 10月19日
	藤波祐樹	国際水研	9月29日 ~ 10月19日
契 約 職 員 :	未定	国際水研	9月29日 ~ 10月19日
	未定	国際水研	9月29日 ~ 10月19日
	未定	国際水研	9月29日 ~ 10月19日
	未定	国際水研	9月29日 ~ 10月19日

7 調 査 目 的 北太平洋は、ヨシキリザメやアオザメなどの外洋性大型サメ類の好漁場の一つである。これらサメ類の資源評価の向上が求められており、サメ類への電子記録型標識を装着し、水平・鉛直方向の行動特性を把握することを目的とする。また通常標識を装着し、長期間の水平移動を確認するとともに、成長速度に関する情報を得る。

8 調 査 項 目 海洋観測 : CTD、XCTD、ADCP、採水、測深による海洋調査
漁獲調査 : はえ縄
魚探調査 : 計量魚探
測器等調査 : 魚探の較正、CTDキャリブレーション、SBT500を用いた、サメ・カジキ類の釣獲時間・深度調査
標識放流 : サメ類への電子標識、通常標識装着による分布回遊調査

9 調 査 海 域 北西太平洋

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
9月29日	清水港出港		6	15		
10月19日	清水港入港					
	合計		6	15		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 KL

平成28年度 調査船調査計画書

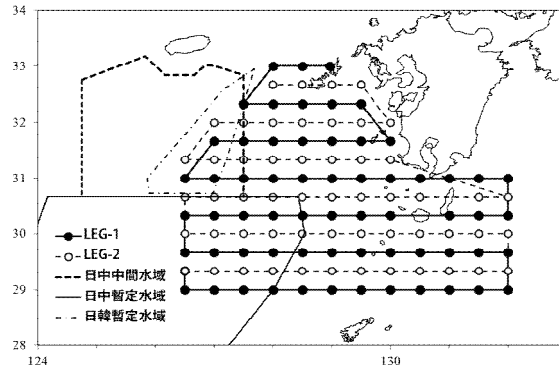
- 1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)
- 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
- 3 調 査 名 スルメイカ稚仔調査
(予 定 し て い る 予 算 科 目 名 : 水 産 庁 委 託 資 源 評 価 調 査)
- 4 調 査 期 間 平 成 29 年 1 月 30 日 ~ 平 成 29 年 3 月 1 日 (31 日 間) (航 海 数 : 1 航 海)
- 5 担 当 研 究 所 等 北 海 道 区 水 産 研 究 所 資 源 管 理 部 浮 魚 資 源 グ ル ー プ
責 任 担 当 者 : 加 賀 敏 樹
電 話 : 0154-92-1715
- 6 乗 船 調 査 員 等

	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	加賀敏樹	北海道区水産研究所	1月30日 ~ 2月12日
研究所等職員 :	岡本 俊	北海道区水産研究所	2月12日 ~ 2月25日
契約職員 :	未定		1月30日 ~ 2月25日
契約職員 :	未定		1月30日 ~ 2月25日
- 7 調 査 目 的 東 北 ・ 北 海 道 太 平 洋 海 域 に 来 遊 す る ス ル メ イ カ 稚 仔 の 分 布 量 お よ び 産 卵 場 環 境 等 に 関 す る 知 見 を 収 集 し て 再 生 産 状 況 を 把 握 す る 。 東 シ ナ 海 ~ 九 州 周 辺 海 域 に 分 布 す る マ イ ワ シ ・ マ ア ジ ・ サ バ 類 等 の 重 要 浮 魚 類 卵 稚 仔 の 分 布 状 況 に 関 す る 知 見 も 併 せ て 収 集 す る 。

- 8 調 査 項 目
 - ① 海 洋 観 測 : 表 面 水 温 、 C T D 観 測 、 流 速 (A D C P 等)
 - ③ フ ラ ン ク ト ン 調 査 : プ ラ ン ク ト ン 採 集 (ノ ル バ ッ ク ネ ッ ト 116 点) 、 ボ ン ゴ ネ ッ ト 傾 斜 曳 き 全 点 、 濾 水 計 キ ャ リ プ レ ー シ ョ ン 2 点

9 調 査 海 域 東シナ海、九州周辺海域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
1月30日	清水出港		2			調査員乗船
2月1日	調査開始			12		
2月12日	鹿児島入港	2				調査員交代、給水、燃油積み込み
2月14日	鹿児島出港			11		
2月24日	長崎入港	2				調査員下船(25日)、機材搬出
2月26日	長崎出港		2			
3月1日	清水入港					
	合計	4	4	23		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 消費量 150 KL